【資料３－２】

抗インフルエンザウイルス薬の備蓄方針について（案）

【平成２８年度の備蓄について（案）】

○H28.9 末に、34.41 万人分のタミフルカプセルが期限切れを迎える。

⇒国による本府の新たな備蓄目標総数及び薬剤割合を達成できるように、廃棄に伴う不足分について、国の薬剤優先順位や財政措置等を踏まえたうえで購入

・備蓄目標総数（大阪府）　181.6 万人　→　159.73 万人　（▲21.87 万人）

（単位：万人）		タミフル カプセル	タミフル ﾄﾞﾗｲｼﾛｯﾌﾟ	リレンザ	イナビル	ラピアクタ	備蓄総数
府の備蓄状況（～H28.9.30）	①	100.91	6.19	74.5	0	0	181.6
廃棄（H28.9.30期限）	②	34.41	－	－	－	－	(34.41)
府の備蓄状況（H28.10.1～）（①－②）	③	66.5	※4.49	74.5	0	0	145.49
28年度購入分	④	－	7.71	－	－	6.53	(14.24)
府の備蓄状況（H28年度購入後）（③＋④）	⑤	66.5	12.2	74.5	0	6.53	159.73
（参考）　国備蓄目標量（大阪府分）		*41.56*	*22.33*	*23.98*	*63.89*	*7.97*	*159.73*

※ドライシロップについて、26年度に、5歳未満の幼児1人当たりの治療量として、8.7gで人員換算して購入。（府の独自購入）
28年度購入分以降は、国の新たな方針を踏まえ、幼児1人当たりの治療量を12g（＋3.3g）にて換算。
＜ 6.19**万人分**→4.49**万人分（**▲1.7**万人分）** ＞

（参考）平成28年度においては、下記のとおり国から財政措置される。（平成29年度以降は別途通知）

【大阪府】備蓄目標総数	（内訳） タミフル（ﾄﾞﾗｲｼﾛｯﾌﾟ）	ラピアクタ
10.31万人分	3.78万人分	6.53万人分

【平成２９年度以降の備蓄について（案）】

⇒各年度における備蓄薬剤使用期限に伴う廃棄に応じて、国による本府の新たな備蓄目標総数及び薬剤割合を達成できるように、廃棄に伴う不足分について、国の薬剤優先順位や財政措置等を踏まえたうえで購入

（単位:万人）	年度	備蓄量累計 タミフル カプセル	タミフル ﾄﾞﾗｲｼﾛｯﾌﾟ	リレンザ	イナビル	ラピアクタ	合計	目標達成率	購入人数分 タミフル カプセル	タミフル ﾄﾞﾗｲｼﾛｯﾌﾟ	リレンザ	イナビル	ラピアクタ	計	廃棄人数分 タミフル カプセル	タミフル ﾄﾞﾗｲｼﾛｯﾌﾟ	リレンザ	イナビル	ラピアクタ	計
府購入計画（案）	28	66.50	12.20	74.50	0	6.53	159.73	100%	0	7.71	0	0	6.53	14.24	34.41	0	0	0	0	34.41
	29	41.56	22.33	74.50	13.37	7.97	159.73	100%	11.06	10.13	0	13.37	1.44	36.00	36.00	0	0	0	0	36.00
	30	41.56	22.33	74.50	13.37	7.97	159.73	100%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31	41.56	22.33	67.45	20.42	7.97	159.73	100%	30.50	0	0	7.05	0	37.55	30.50	0	7.05	0	0	37.55
	32	41.56	22.33	41.67	46.20	7.97	159.73	100%	0	0	0	25.78	6.53	32.31	0	0	25.78	0	6.53	32.31
	33	41.56	22.33	23.98	63.89	7.97	159.73	100%	0	4.49	8.09	17.69	1.44	31.71	0	4.49	25.78	0	1.44	31.71
国備蓄目標量（大阪府分）	*28～*	*41.56*	*22.33*	*23.98*	*63.89*	*7.97*	*159.73*													